

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103953
法人名	有限会社やわらぎ
事業所名	グループホームぼうさんのおうち
所在地	松山市久万ノ台137-6
自己評価作成日	平成28年5月

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成28年5月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>・外出支援、月1回家族による演奏 ・利用者に寄り添い一緒に出来る事をする。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>毎月2回開く「喫茶店」では、家族のピアノ演奏やボランティアの手作りおやつ等の協力を得て継続しており、利用者が地域の方や子ども達と交流する機会にもなっている。近所の保育園とおつきあいを再開しており、園児が歌を聞かせてくれたり、肩たたきしてくれて利用者はたいへん喜んでいる。日頃の会話から職員は、利用者の食べたい物を把握するよう取り組み、献立に採り入れている。筍やつくし等、季節感のある食材も採り入れて会話のきっかけにもしている。昼食時、職員は利用者の様子を見計らい少し遅れて着席し、介助しながら同じものを食べていた。重度の利用者には、献立や食材を一つひとつ説明してから介助していた。</p>

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 該当するものに 印	項 目		取 り 組 み の 成 果 該当する項目に 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらい 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらい 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームぱうさんのおうち

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

田中 恵子

評価完了日

平成28年 5月 15日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 事務所の前に掲示している。利用者の方に寄り添いながら楽しくおだやかに過ごせるように、実践出来るように努めている。	
			(外部評価) 事業所理念を「利用者の方の想い出来る限り寄り添い笑顔で楽しく和気あいあい」とつくり、フロア入り口のよく目につく場所に掲示している。管理者は、折りにふれ、「先々手を出さず、できることを引出すような声かけ」について職員に話し、理念が実践できるよう導いている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 事業所で行う夏まつりは地域の方にも参加してもらっている。市民大掃除にも参加している。近くの保育園との交流もあり、少しずつ交流する機会が増えてきている。	
			(外部評価) 毎月2回開く「喫茶店」では、家族のピアノ演奏やボランティアの手作りおやつ等の協力を得て継続しており、利用者が地域の方や子ども達と交流する機会にもなっている。近所の保育園とおつきあいを再開しており、園児が歌を聞かせてくれたり、肩たたきしてくれて利用者はたいへん喜んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議時など状況報告をして、意見などを言ってもらっている。行事にも参加してもらっている。地域の人々に向けては努力が必要である。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 活動報告など報告している。全職員が参加する事は難しいので議事録に目を通してもらっている。	時には、当事業所で独自の会議を行い、事業所の様子を見てもらいながら、さらに具体的な意見を出してもらいような機会も作ってはどうか。又、サービス評価の結果や目標達成計画への取組状況を報告して、参加者にモニター役になってもらってはどうか。
			(外部評価) 会議は、併設事業所と合同で行っており、家族や利用者、民生委員等が参加している。毎回テーマを決めて意見交換を行っており、利用者が災害避難用の「スロープを作ってほしい」と提案したこともある。民生委員は、町内行事等、地域情報を教えてくれる。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 主に管理者が行っており、内容などについては連絡ノートや口頭で報告している。サービスについてわからない事は相談している。	
			(外部評価) 運営推進会議には、市や地域包括支援センターの担当者が参加しており、夜間の避難訓練の実施や備蓄について提案があった。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 社内研修に参加したりして身体拘束をしないケアに取り組んでいる。リスクがある場合は家族に相談し同意書を得ている。	
			(外部評価) 車いすを使用する利用者で前に倒れる心配がある方には、福祉用具業者からタオルを使った座位保持の方法を教してもらい試した。安定している時はタオルを外して経過観察し、現在は、タオルなしでも座位が安定している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 年2回法人内の研修を行い学びの場をもうけている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 会社の研修や外部の研修に参加して学ぶ機会を持つようにしている。研修参加の意欲も少ないため活用出来るようにしたい。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 施設見学や事前面談にて、本人・家族の不安や疑問点があれば説明し納得していただけるように努めている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者・家族には運営推進会議に参加して頂き、意見を頂き反映している。	
			(外部評価) 家族の来訪時や電話で利用者の状態や暮らしぶりを伝え、意見や要望を聞いている。夏祭りやクリスマス会等の行事や外出時に案内し、一緒に過ごす機会を作っている。日々の様子や行事の写真は、家族が手にとって見れるようにアルバムにしており、必要があれば持ち帰ることもできる。職員の異動や退職については、職員個々が家族に挨拶する等している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			スタッフ会などで意見を出し、話し合いをしている。社長も参加されている。	
			(外部評価)	
			月1回のスタッフ会は、職員全員が参加しているが、欠席者は会議録で内容を確認する仕組みを作っている。昼食後、交代で休憩を取り、リフレッシュしてケアを行えるようにしている。家事専門の職員を配置し、介護職員は、利用者とかかわる時間を多く持てるようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			自己評価の書類を提出して、個々の意見の発言が出来るようにしている。年に1度は施設長との面談もある。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			人員が確保できる時は、勤務時間内に研修に参加させてもらっている。法人内・外部の研修も多く充実している。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			地域密着型サービス協会の相互研修を利用している。外部の研修にも自由に参加させてもらっている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			ご本人の話を聞いたり様子観察などをし、利用者が話しやすい関係づくりに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 家族との困っていること・不安なこと・要望等など細かく話をしたり、聞いたりして、良好な関係づくりに努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人や家族の方が何を望んでいるか、細かく話し合うことにより、より良い対応に努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 本人が出来る事は一緒に行い、利用者さんからいろんな事を学ぶように心がけている。	
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の状況を説明している。面会時は、居室にて過ごしてもらっている。出来るだけ交わりをもってもらうように心がけている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 関係継続の支援を行う事は難しいが、出来るだけ要望に答えられるように支援している。 (外部評価) 併設事業所が月1回カラオケ大会を催しており、職員は歌の好きな利用者に毎回声かけして、参加できるよう支援している。夫婦で利用している方は、居室で一緒に過ごす時には、そっと扉を閉めてゆっくり過ごせるよう配慮している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 気が合わない利用者さんもおり、職員が中に入り仲良く出来るように支援している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 行事案内を送付している。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご本人に伺える方には、ご本人に聞いている。そうでない方には、家族に聞くなどして情報収集している。	
			(外部評価) 私の気持ちシートを用いて、今の不安や苦痛、楽しみ、生活の希望等、項目ごとに本人の言葉を記入して、思いや意向の把握に努めている。職員は、利用者自らが選んで好きなことを行うことや、持っている力を発揮する場面作りに取り組んでいる。調査訪問時には、自分の席に本や文具を置いて、好きな時に手に取っている様子が見られた。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 今までの生活との変化が少ないように聞き取りをし把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 気付いたことは介護記録や連絡ノートに記入し職員が把握できるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	本人・家族と話し合い作成している。スタッフ会で話しあっている。	
			(外部評価)		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	介護記録を通して職員も共有しているが、職員によりムラがある。	
			(外部評価)		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	本人や家族の要望に添えるように対応したい。	
			(外部評価)		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	近所にあるスーパー・本屋・喫茶店などを利用し、楽しみながら生活してもらえるように工夫している。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) かかりつけ医療機関で個別往診が定期で入っている。ご本人の希望があれば連絡をし診てもらっており24時間体制で連携をとっている。</p> <p>(外部評価) 夜眠れない方については、日中、活動的に過ごせるよう声かけしたり、昼寝を短めにする等、安易に薬剤に頼るのではなく、生活リズムを整えながら支援している。眠れない場合には、薬剤を用いてゆっくり眠れるよう支援している。歯科は必要に応じて往診がある。</p>	
31		<p>○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 訪問看護師が来られた際は、その都度様子を伝えたり、分からなければ聞いている。</p>	
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) 入院・退院時の対応は主に管理者が行っている。また、情報は他職員にも伝え把握できるよう努めている。</p>	
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 1年に1度ご本人やご家族に看とりの希望を聞き書面に残している。また、緊急の際はご家族のいる所はその都度細かく話しあっている。</p> <p>(外部評価) 利用契約時、「重度化した場合の対応」の書類を提示して事業所の指針に沿って、看取りまで支援できることを説明している。入居後は毎年、重度化した場合の暮らし方の意向を本人、もしくは家族にアンケート形式で確認を行っている。現在、利用者全員が事業所での看取りを希望しており、昨年は1名の看取り支援を行った。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) マニュアルは作成しているが、職員によって実践力のスキルの差はあるため、今後の課題であると感じている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 1ヶ月に1度避難訓練をしているが不慣れな職員もいる。防災委員も決め話し合いをしている。また、消防署などの協力を得てAEDの使用訓練を実施している。地域との協力体制はあまり築けていない。 (外部評価) 年2回、消防署立ち会いのもと併設事業所と合同で、日中の火災想定避難訓練を行っている。年数回は、事業所独自の避難訓練も行っている。今年、運営推進会議を捉え、地域の方にも案内して合同の訓練を予定している。	運営推進会議時には、参加者から災害時の「併設事業所との協力体制」や「夜間の避難訓練の実施」等について、意見があった。今後も会議を活かして、安心安全に向けた具体的な取り組みをすすめてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 気を付けてはいるが、時々なれなれしい言葉使いになったり大きな声になったりすることもあり、ちゃんとした対応が出来てないこともある為、努力している。 (外部評価) 職員の気になる言葉かけについては、管理者はミーティング時等で、職員皆の問題として話し合っている。仲の良い利用者同士でコミュニケーションが図りやすいような席順に配慮しており、職員が仲に入ることで会話が弾んでいた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 声掛けして、本人の希望を聞き選んでもらったりしている様になっているが、時々、職員のペースに合わせてしまっている時がある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 外出の希望があっても、その日出勤している職員によって要望が叶えられない時がある。職員の都合に合わせてしまっている事もある。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 声掛けをし、整容をしたり着替える際も選んでもらったりしている。また、天候に合わせて外出の際スカーフや帽子など着用してもらったりしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 米とぎ・じゃがいもの皮むき・たまねぎの皮むきなど調理の準備や食器洗い・食器拭きなどの片付けも手伝ってもらっている。	
			(外部評価) 日頃の会話から職員は、利用者の食べたい物を把握するよう取り組み、献立に採り入れている。筍やつくし等、季節感のある食材も採り入れて会話のきっかけにもしている。昼食時、職員は利用者の様子を見計らい少し遅れて着席し、介助しながら同じものを食べていた。重度の利用者には、献立や食材を一つひとつ説明してから介助していた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事の形態は1人1人に合わせて行っている。また食事が摂取しにくい際はエンシュアや食事介助を行ったりしている。ポカリを飲んでもらったりと水分確保に努めている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) ご自身で出来ることはして頂いている。口腔ケアに介助が必要な方に対しては、毎食後の口腔ケアは出来ていない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価) 日中、紙オムツではなく紙パンツにはきかえてもらい、トイレにて排泄出来るように支援を努めている。</p> <p>(外部評価) 入居時にはおむつの状態だった利用者に、日中はトイレで排泄できるよう支援を続け、じょじょに自発的な動作が見られるようになり、意欲向上にもつながったような事例がある。状態が良くなったことについて、家族もたいへん喜んでいる。パッドや紙おむつ等の必要性や適切性について、随時職員間で見直しを行い、一人ひとりの状態にあった支援を行っている。見直した内容は、連絡ノートに記載し、職員間で情報を共有している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 状況を記録などで共有しており、下剤に頼るのではなく牛乳やヨーグルト・水分補給をしっかりとし、便秘にならないよう努めている。</p>	
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価) 3日に1回のペースで入浴して頂いているが、その都度声掛けをし、ご本人の体調に合わせてズラしたりしている。毎日入浴の訴えがある方に対しては曜日を決め入浴してもらっている。</p> <p>(外部評価) 午前9時から午後4時までを目安に、希望を聞きながら入浴を支援している。日によって、早起きした方は、希望で早い時間に入浴する場合もある。重度の方には、職員が二人介助で湯船で温まれるように支援している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価) ご本人の体調に合わせ、日中でも居室で休んでもらえるようにしている。就寝時間もご本人のペースに合わせているため、リビングにてTVを見られる方もいたり、早目に寝られる方もおりそれぞれである。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人ごとの薬の用量・用法は薬状をみて把握に努めている。毎食後の薬や、とんぷく薬も服薬してもらった都度記録をし飲み忘れがないよう努めている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 家事(洗濯・料理)などのことはよく手伝ってくださる。また、入居前からの楽しみを継続出来るように支援に努めている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) その日の職員の人数により外出希望に対応出来ないこともあるが、日程をみて行ける体制を作り支援をしている。近場のスーパーや本屋などは声掛けをして希望あれば外出している。	
			(外部評価) 全員での外出については、レクリエーション担当職員が年間計画を立てている。重度の方は、車いす対応の車を使用して外出を支援しており、他事業所の夏祭り等にも参加している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ご本人で管理出来ない方は事業所にて管理をしており、買い物の際は同行をして選んでもらっている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 携帯電話を持たれている方に関しては自由に連絡を取ってもらっている。手紙などは職員が代筆をしたりしてスムーズに支援できるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 毎日掃除を行い清潔に努めている。リビングなどに花や手作りにて季節感を味わえるようにしている。	
			(外部評価) 居間にソファを配置してくつろげる空間を作っている。飼っているセキセイインコに餌やりをしたり、触れあって可愛がる利用者もいる。トイレの扉には、「空き」「使用中」が分かる札を下げ、利用者は確認して使用している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ご夫婦の方や、仲の良い方などを近くにしたりと座席を決めているが、その都度交代したりもしている。リビングでは自由に過ごしてもらっている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れたものを使用して頂いている。新しくする場合、ご本人やご家族の方と相談をし居心地よく過ごしてもらえるよう工夫している。	
			(外部評価) 職員が利用者に聴きながら作成した家系図や、若い頃の写真のコピーを壁にレイアウトしている居室があり、会話のきっかけにもなっている。又、職員と一緒に掃除したり、ポータブルトイレの始末をする方もいる。各居室に防災用ヘルメットを常備し、いざという時すぐ使用できるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 自身で出来ることはやってみようとしており、難しいことは手助けをしている。居室内では危険性がある方は同意を得てすべり止めマットを使用したりしている。	